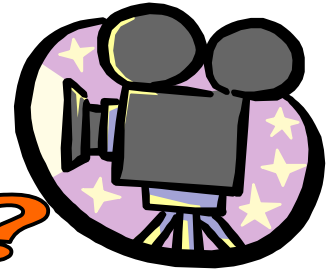


# とうにうん

第36号 09年6月8日  
JR東海労東二運分会  
責任者 庭山義輝  
編集 教宣部

## たまには映画でも 「遭難フリーター」 観ませんか？



組合員のみなさん！  
ユニオン・国労組合員のみなさん！

品川駅へ強制転勤されている森下さんから便りです

昨年12月に東二輪、東一輪から合わせて16名（その後、退職した方がいると聞いています）が「運輸系統の社員運用の変更」を理由にして、本人の意志が聞き入れられないまま駅への「還流」が強行されました。また、一昨年は東二輪から東海労組合員・森下さんが転勤させられ、1年半が経過しました。森下さんは、慣れない仕事に苦勞しながらも元気に品川駅で活躍しています。転勤当初の営業から、現在は輸送へ変更となりホームで顔を見かけるようになりました。是非、激励を！

森下さんは、転勤先でもしっかりと世の中を見ているようで、以前は「フツの仕事がしたい」という映画の話しをしていました。この映画は、1カ月の労働時間が平均500時間で休日はほとんどなく、賃金は30万円前後のトラック運転手を追ったドキュメンタリー映画で「現代の蟹工船」と反響を呼んでいました。

そして今度は「遭難フリーター」という映画を観たそうです。この映画は、23才の派遣労働者が、自らの生活のすべてを自己撮りした超リアルドキュメンタリーです。彼は、居酒屋でおっちゃんに「あんたは、奴隷なんだよ！」と罵られ、「俺は誰に負けた？俺は、誰の奴隷だ？」と自問しています。生きることに「遭難」した彼にその出口はあるのでしょうか。

森下さん曰く「この映画には、ホップとステップしかない。ジャンプ（出口）は、映画を観た人が決めなければならない」。

**みなさん たまには映画を観に行きませんか**

6月19日～7月2日 UPLINK FACTORY 渋谷区トツネビル